

横浜型小中一貫教育

万騎が原中学校ブロック

ブロック校 万騎が原中・さちが丘小・二俣川小
万騎が原小・南本宿小

平成 24 年度より、横浜市立小・中学校では、全 142 ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育 9 年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。本ブロックは、「ふれあい」を大切にした小中交流や地域と連携した活動を続けています。そして、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指しています。

ブロックテーマ

「ふれあい」を大切にし、主体的にかかわれる子どもの育成

～小中9年間を通して、コミュニケーション能力の向上を図る～

【授業研究への参加 指導の工夫改善】

○市の学力学習状況調査を活用し、児童生徒の傾向を分析し指導に生かします。
○教職員が互いの学校の授業参観や研究授業に参加し、児童生徒理解や学力向上のために共通理解を図っています。
○今年度は、万騎中ブロックで作成した小中一貫カリキュラムをもとに、9年間の学びを意識して、児童生徒のコミュニケーション能力の一層の向上をめざし、指導のあり方を研究研修していきます。

万騎中ブロック小中一貫教育の 取り組みの一部を紹介します！

【6年生による中学校の 授業参観&部活動見学】

○ブロック内4つの小学校の6年生児童が万騎が原中学校へ授業や部活動、施設を見学に行きます。実際に中学校生活に触れることで、中学校を理解し、身近に感じることができ、進学への不安が解消されると好評です
○中学校の生徒も、後輩たちにお手本となる姿を見せています。



【音楽による児童・生徒の交流】

○ブロック内小学校4校の児童とPTAコーラス、中学校の合唱部が参加して、音楽交流会を毎年開催しています。毎年会場校は輪番で会が開かれるので、それぞれの学校を知るよい機会となっています。美しい歌声に触れ、音楽を楽しむ気持ちを共有できる素晴らしい会です。
○万騎が原中学校の吹奏楽部による演奏会が開かれます。吹奏楽部は練習の成果を発揮しすばらしい演奏を披露します。また、小学生が楽しめる演出の工夫を凝らしています。演奏を聴いた小学生たちは、その迫りに驚きながらも吹奏楽を楽しんでいます。